



# 2019. 9

(島根県道づくり調整会議)

## 道づくりだより 第139号



(主) 川本波多線 多田～港工区 多田トンネル 貫通式の様子

### -Contents-

1. (主) 川本波多線 多田～港工区 多田トンネル <貫通式が開催されました> (道路建設課)
2. (主) 田所国府線有福温泉工区の開通に向けて周辺整備計画の検討を進めています (道路建設課)
3. 道路愛護等に努めた方々が表彰されました (道路維持課)
4. 山陰自動車道建設促進島根県民総決起大会2019 (高速道路推進課)

かわもとはたせん たた～みなと  
 (主) 川本波多線多田～港工区 多田トンネル  
 <貫通式が開催されました>

(主) 川本波多線多田～港工区は、邑智郡川本町大字多田から邑智郡美郷町港までの約3.1kmのバイパス事業で、両町間のアクセス利便性の向上を図るとともに、中山間地域における東西交流を促進することを目的として、整備を進めています。

トンネル工事については、昨年度9月に本格的な掘削を開始し、今年8月2日に貫通し、9月10日に多田トンネル貫通式が開催されました。

### 施工位置図



### 工事概要

- 工事位置：邑智郡川本町大字多田
- 工事期間：平成29年度～令和元年度
- 工事延長：1,080m（トンネル1,012m）
- 工事業者：  
松江土建・まるなか建設・毛利組特別共同企業体

### ● 実貫通 ●

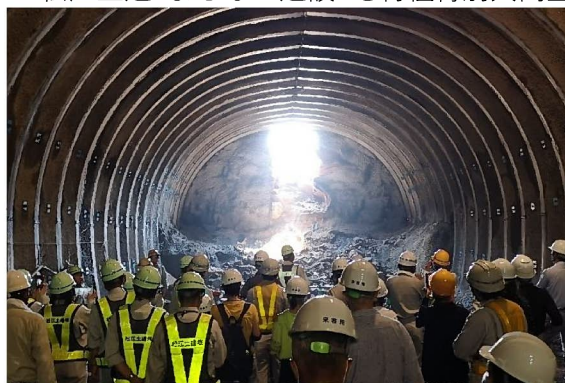
工事業者の厚意により、工事関係者の他、地元住民の参加のもとトンネルが実貫通しました。貫通点清めの儀式の後、重機で掘削を進めました。暗いトンネルの中に太陽の光が射し込み、風が通り抜けトンネルの貫通を実感しました。

### ● 貫通式 ●

貫通式は工事業者である、多田トンネルJVの主催で行われました。最終発破と貫通報告の後、工事関係者による貫通点渡り初めや鏡開きなどが行われ、参加者全員の万歳三唱で貫通を祝いました。

### ● 今後の工事 ●

トンネル工事は引き続きトンネル内の舗装工事等を行い、令和元年度に完成する予定です。その後、照明・防災施設工事やトンネル前後の道路工事をおこない、トンネル区間については令和2年度の供用を目指して工事を進めて参ります。工事によりご不便をおかけすることがありますが、ご協力よろしくお願ひします。



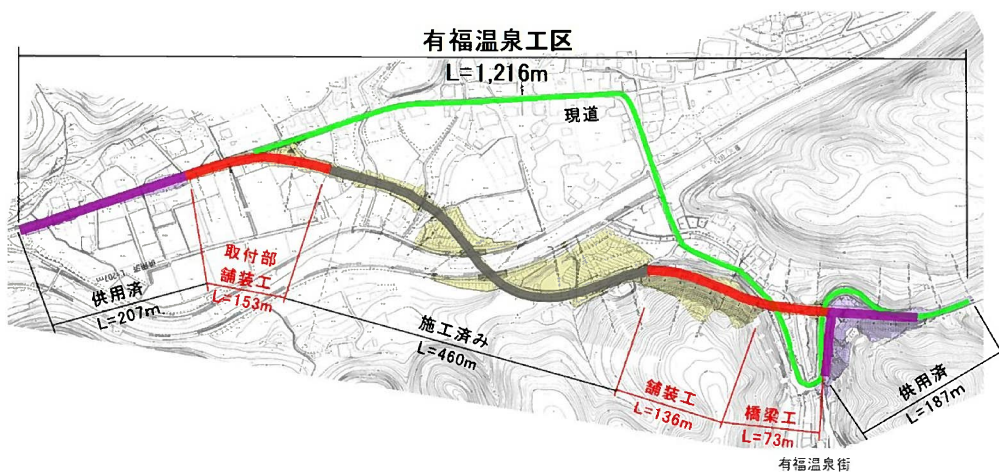
たどころこくふ ありふくおんせん  
**(主) 田所国府線 有福温泉工区の開通に向けて  
 周辺整備計画の検討を進めています**

**【有福温泉工区の事業目的】**

(主) 田所国府線は、邑智郡邑南町の国道261号を起点とし、江津市を經由して、浜田市の国道9号に至る延長約43kmの道路です。

この道路は沿線地域の生活道路としてだけでなく、江津市の観光地である有福温泉への主要なアクセス道路としても広く利用されていますが、幅員の狭い道路に家屋や店舗が連なっており、急で見通しの悪いカーブが連続するなど、非常に通行が困難な状況でした。

このため、新たにバイパスを整備し、地域住民や温泉利用客等の安全性や利便性の向上を図ることを目的として事業を行っています。



**【有福温泉工区の概要】**

延長	1,216.0m
幅員	10.0m (車道3.0×2、歩道2.5、路肩1.5)
道路規格	第3種第3級
設計速度	50km/h
事業期間	H13 ~ R3

平成13年度から事業に着手し、今年度は橋梁下部工に着手したところです。

今後は、残る橋梁上部工、舗装工を施工し、令和3年度の完成を目指して進めます。

**【周辺整備計画検討の取組】**

有福温泉の玄関口となるこの道路の開通効果を最大限に生かすために、玄関口としてふさわしい道路施設の修景や周辺整備を行うこととしました。

今後は、地元、有識者、関係団体、市、県で組織する検討会を立ち上げ、「橋梁の色彩や高欄のデザイン」「景観型道路照明」「ポケットパーク整備」「旧道の修景整備」などの検討を進めていきます。



8月21日に、ライター・プロガーで遣島使の西村 愛さんにお越しいただき、現場視察や意見交換会を通じ、様々な視点からアドバイスをいただきました。

山下市長、真田土木部長と記念撮影



山下市長、よしだや若女将 佐々木文さん、西村愛さん、奥田部長



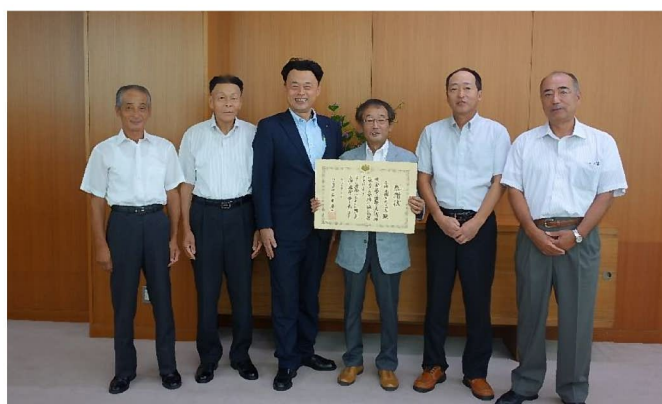
意見交換会の様子

## 道路愛護等に努めた方々が表彰されました

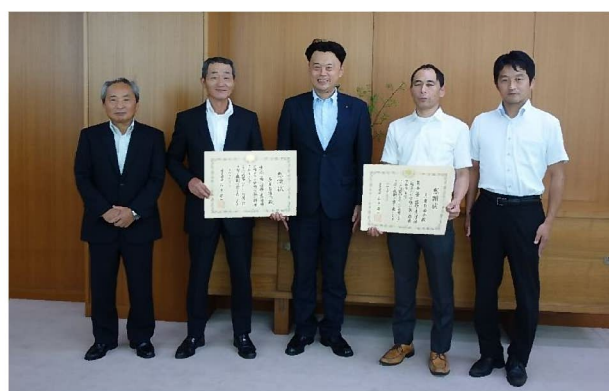
8月26日、県庁知事室において、「道路交通の安全、道路の正しい利用、道路愛護等に努めその功績が特に顕著な民間の団体又は個人に対する国土交通大臣表彰」の伝達式と「みんなで守り育てるしまねの道と川の愛護活動表彰」の授与式が行われました。

### ～国土交通大臣表彰～

国土交通省では、8月の「道路ふれあい月間」中に「道路交通の安全、道路の正しい利用、道路愛護等に努めその功績が特に顕著な民間の団体または個人に対する表彰」という名称の国土交通大臣表彰を行っています。島根県からは3団体が表彰されました。



丸山知事と記念撮影をされる代表者の方々。  
小津本郷区自治会、知事



左から、長見自治会、知事、土居自治会

### ◇受賞の皆様

#### 小津本郷区自治会（出雲市）

昭和60年から活動を初め現在に至るまで年2回の活動を継続的に行っておられます。道路施設だけではなく、港湾施設の草刈や3ヶ月に一度空き缶拾いの美化活動も行っておられます。集落の全戸が参加するなど美化意識が非常に高く地域の環境維持に大きく貢献しておられます。

- 作業人員：100人
- 作業延長：1.8km
- 年間作業日数：2日(草刈)、4日(美化)
- 従事年数：34年
- 作業路線：(主)斐川一畑大社線  
(一)十六島直江停車場線



### 土居自治会（松江市）

『ボランティアで住みよい町づくりをしよう！』という声上がり平成17年に道路愛護団体に認定されて以来、郷土の美化活動と社会奉仕を目的に草刈活動を行っておられます。活動範囲が小学校通学路であることから、登下校時の通行の安全性確保にも多大な貢献をしておられます。

- 作業人員：25人
- 作業延長：約1.2km
- 年間作業日数：2日
- 従事年数：14年
- 作業路線：(一)大野魚瀬恵曇線



### 長見自治会（浜田市）

平成16年から現在まで継続して活動をしておられます。作業延長が長いなか、注意看板を設置して活動するなど安全にも配慮しながら活動されており、地域の環境整備に大きく貢献しておられます。

- 作業人員：約40人
- 作業延長：3.8km
- 年間作業日数：2日
- 従事年数：15年
- 作業路線：(一)黒沢安城浜田線



## ～島根県知事表彰～

島根県では、「みんなで守り育てるしまねの道と川の愛護活動表彰」という知事表彰を行っています。道路部門では、長年の功績を称えられた6団体が表彰されました。

## ◇受賞の皆様

## ●杉戸自治会（雲南市）

長い区間の草刈を長年に渡り実施されており、松江尾道線も近くに通っていることから観光客にも喜んでもらえるように取り組む姿勢は、地域の環境整備に大いに貢献しておられます。

## ●加土自治会（大田市）

年4回の活動で道路だけでなく河川の清掃・草刈、また空き缶などのゴミ拾いや縁石ブロック等、道路設備の清掃をするなど20代から80代まで地域一体となって地区全体の美化に努めておられます。

## ●銭草刈ボランティア（邑南町）

愛護活動を通じて地域の連帯感が深まることで積極的な活動を現在まで継続して取り組んでおられます。県道2路線の草刈活動は地域の環境整備に大いに貢献しておられます。

## ●周布地自治会（浜田市）

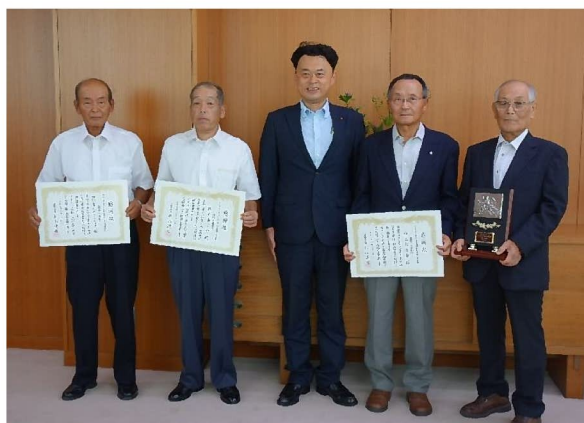
中山間地域において24世帯約50人で地域活性化に取り組んでおられます。草刈だけではなく不法投棄のパトロールや美化活動など自主的に行っており、長年にわたる活動は県道沿線の環境維持に大いに貢献しておられます。

## ●内田自治会（益田市）※表彰式は欠席

ハートフルに登録する以前から継続して活動しておられます。道路だけではなく河川の愛護活動もされており、地域の環境整備に大いに貢献されておられます。

## ●重栖地区道路愛護グループ（隠岐の島町）

平成17年に愛護団体に認定されて以来、地元の環境美化と整備のため花壇の美化、沿道草刈を10年以上継続して熱心に取り組んでおられます。



左から：銭草刈ボランティア、杉戸自治会、知事、加土自治会



左から：重栖地区道路愛護グループ、知事、周布地自治会

# 山陰自動車道建設促進島根県民総決起大会 2019

高速道路推進課

山陰道（安来～益田）の沿線市等で組織する山陰自動車道（安来～益田）建設促進期成同盟会主催の「山陰自動車道建設促進島根県民総決起大会'19」が、9月28日（土）に江津市（江津市総合市民センター）で開催されました。

大会には、今月13日に就任された青木国土交通副大臣や、三浦参議院議員、初の大会参加となる丸山知事をはじめ、多数の来賓が出席し、一般参加者を含め約500人が、山陰道の早期整備を強力に進めるため一致団結しました。



冒頭、主催者である同盟会会長の楫野大田市長が「地方を元気にするためには、交通網の整備は非常に重要であり、企業誘致ひとつ取ってみても全国の高速道路網とつながらなければ、企業も関心を示してはくれない。」と山陰道の早期整備の必要性を訴えられました。

続いて行われた基調講演では、元松江国道事務所長の石龍太郎氏が「山陰道は国家の大事業」と題し、高速道路が人口減少や人口定着の課題解決に有効であることや、公共事業は単に借金を増やすものではないことなどをわかりやすくご説明いただきました。

また、意見発表では、トップ金属工業の林田栄三専務取締役から、企業にとっての山陰道の必要性や早期整備の願いを直接聞くことができました。

大会最後には、同盟会副会長である山本益田市長が読み上げた決議文が採択され、同じく同盟会副会長の長岡出雲市長の発声の下、参加者全員で山陰道全線開通に向けて「がんばろう」を三唱し締めくくりました。



（講演：大石氏）



（意見発表：林田氏）

記

1. 高速道路ネットワークの構築は、国が国民に等しく保障すべき基礎的サービスであるとの基本に立ち、整備の遅れに強い危機感を持つ地方の声に応え、全国のミッシングリンクの解消に必要な予算を満額確保し、山陰道を早期に全線開通させること。
2. 現在事業中である「出雲・湖陵道路」、「湖陵・多伎道路」、「大田・静間道路」、「静間・仁摩道路」、「福光・浅利道路」、「三隅・益田道路」、「益田道路」について、着実に事業を推進すること。また、開通見通しを早期に公表すること。
3. 高速道路本来の効果を発揮できるよう、未事業化区間の早期事業化を図ること。特に「益田～萩間」は、優先区間の「須子～田万川間」について、速やかに「計画段階評価」を終えて早期事業化を図ること。
4. 長期的・安定的な道路整備・管理の促進のため、新たな道路財源を創設するとともに、防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策を着実に実施するための予算を確保し、整備の遅れている地域へ重点的に配分すること。

以上決議する。

令和元年9月28日

山陰自動車道建設促進島根県民総決起大会

（決議文）



（がんばろう三唱）